

News!



藤沢牧場がJGAP(家畜・畜産物2017版)認証を取得

認証農場の見本となるようさらに生産工程管理を強化

J A全農北日本くみあい飼料(株)

JGAP認証を取得した藤沢牧場の皆さん



JGAPの取得目的は牧場の生産工程管理を構築すると共に、消費者・食品事業者からの信頼を得ること。そして最終的な目標は、農畜産物の安全を確保し、消費者を守り、地球環境を保全し、同時に持続的な農業経営を確立することです。

JGAPの審査は113

J A全農北日本くみあい飼料株式会社藤沢牧場(岩手県一関市藤沢町)は3月28日、JGAP(家畜・畜産物2017版)の認証を取得しました。

項目の管理点があり、必須57項目、重要42項目、努力14項目で審査されます。また、主要な管理項目は、農場管理、家畜衛生、食品安全、アニマルウェルフェア(快適性に配慮した家畜の飼養管理)、人権の尊重、労働安全、環境保全の7分野になり、その管理点一つ一つを藤沢

牧場の社員と一緒に検証し見直し、認証を取得することができました。

取得後も、藤沢牧場は、全農グループの直営農場として法令を遵守し、東北地区の肉牛生産基盤の維持・拡大、良質な和牛肉生産と後継者育成に貢献し、取引先、従業員、地域から信頼される農場を目指し、生産工程管理を強化し、JGAP認証農場の見本となるよう取り組んでいきます。

News!



G20大阪サミット大阪産(もん)食材提案会へ出展

積極的な活用を目指し関係者にPR展開

大阪府本部



大阪産(もん)の野菜を展示しPR



大阪府本部は4月16日、大阪市都島区の太閤園で開かれた「G20大阪サミット大阪産(もん)食材提案会」(大阪府主催)へ出展しました。

6月28、29日に開かれるG20大阪サミットの関連行事で、J A大阪泉州・J A

産(もん)の積極的な活用を目指しPR活動に取り組みました。

同提案会では、大阪府本部の担当者のプレゼンテーションや、当日参加したJ Aによる商談を行い、6月下旬に旬を迎える「泉州水なす」「大阪なす」「しゅんぎく」「泉州たまねぎ」「テラウエア」「八尾えだまめ」「大阪みつば」「紅ずいき」の8品目を関係者にPRしました。

会場では出展品目を用いた試食を行い、関係者からは採用に向けた前向きな意見がありました。

大阪府本部は、引き続きG20大阪サミット関連行事に積極的に取り組んでいきます。

家畜伝染病拡大を防ぐ!!

JAグループ職員向け 防疫マニュアル完成

全農は豚コレラの発生を踏まえて、JAグループ全体で防疫のさらなる強化を目指すべくJAグループ職員向け「防疫マニュアル」を制作しました。マニュアルでは事務所や倉庫での防疫のポイントの他、畜産農家へ出入りする車両の洗浄・消毒のポイントや、海外渡航した場合の帰国時の留意点などを示しています。【畜産生産部】

「防疫マニュアル」の種類と内容

- (1) 事務所用冊子:A4サイズ・冊子(全32ページ)
- (2) リーフレット:A4サイズ・三つ折
 - ア. 意義・シーン編
 - イ. 車両・衣服・人編
- (3) 動画「防疫管理の基礎知識」
 - ア. 消毒薬(ロソコト)の希釈の仕方
 - イ. 車両消毒編
 - ウ. 踏み込み消毒槽 など

いつでも、どこでも活用いただけるように、動画とリーフレットのデータは全農畜産総合情報サイト「JACCネット」に掲載しています。また、冊子・リーフレットのQRコードを読み込むことで、該当する防疫ポイントを動画で視聴いただけます。

JACCネット 防疫マニュアルページ



「防疫管理の基礎知識」講習会実施

マニュアルに基づいて、全農 畜産生産部 家畜衛生研究所の職員が出向き、JA、県JA、県連、都府県本部と連携して防疫講習会を計画しています。

家畜疾病から畜産生産基盤を守るため、JAグループ一丸となって日常的な防疫管理の徹底に、ご理解とご協力をお願いします。



事務所用冊子「防疫マニュアル」



リーフレット「防疫マニュアル」
「意義・シーン編」(左)、「車両・衣服・人編」



動画「防疫管理の基礎知識 車両消毒編」

問い合わせ先 畜産生産部 推進・商品開発課

TEL:03-6271-8236 FAX:03-5218-2526
JACCネット URL:http://jacnet.zennoh.or.jp

スポーツの祭典!

JA全農チビリンピック2019

晴天の下、2万2000人が来場し4800人が熱戦!

親子マラソンの
入賞者を表彰



親子マラソンで声援を送る高橋尚子さん



高橋さんの誕生日ケーキを囲むゲストの皆さん



開会あいさつする
岩城晴哉専務

全農が特別協賛する第41回JA全農チビリンピック2019が5月5日のこの日、横浜市の日産スタジアムなどで開かれました。全農の特別協賛は今年で33年目。晴天にも恵まれ豪華ゲストも参加する中、2万2000人が来場し4800人が各競技で熱戦を繰り広げました。
【広報・調査部】

競技

日産スタジアムでは、親子マラソンやミニマラソン、50m走、100m走、サッカー大会決勝が行われ、子どもたちが日ごろの練習成果を競い合い、観客席からは声援が飛び交いました。

卓球

港北スポーツセンターでは、JA全農杯チビリンピック小学生卓球選手権大会を開催。石川佳純選手がデモンストレーションを行うなど、会場は大いにぎわいました。今年度は新たにフォトブースを設け、ゲストや会場がデザインされたフレームで撮影した写真をプレゼントしました。

お楽しみ広場

ゲストによるもちつき大会や勝負メシの紹介、カローリング・ポッチャなどのスポーツ体験、ブースでは神奈川県産品や全農グループ取扱商品、串焼きなどを販売しました。

情報発信

全農Twitter「全農広報部スポーツ応援」アカウントで開催状況を都度更新、サッカーキングでは北澤豪さんの解説のもと決勝戦をライブ中継しました。

また、会場ビジョンでのCM放映、

チビリンピックで 焼き餅を配布

参加親子に国産もち米PR

米穀部は、スポーツ大会などで競技参加者を対象に、餅がスポーツに適した食材であることのPR活動を継続的に実施しています。今回は、横浜市の日産スタジアムで5月5日に開催された「JA全農チビリンピック2019」で、焼き餅の試食配布と国産もち米に関するパネル展示を行いました。【米穀部】

米穀部ブースでは2500個の焼き餅を用意し、大会に参加した子どもたちとそのご家族の方々に試食いただきました。

当日は汗ばむような陽気の中、長い列をつくる大盛況となり、試食を通じてスポーツ大会における餅の相性訴求や国産もち米の絶好のPRの場となりました。

米穀部は今後もマラソン大会を中心に国産もち米の消費拡大への取り組みを強化し、もち米マーケットにおけるスポーツ食のポジショニングを確立していきます。



長い列ができた
焼き餅配布

受け取った焼き餅をほお張る子どもたち



デモンストレーションをする女子卓球の石川選手



にぎわう神奈川県
県産品ブース



海上貨物輸送などを行う(株)協伸商会も大会に協賛

ゲスト一覧

石川佳純さん、高橋尚子さん、北澤豪さん、アニマル浜口さん、浜口京子さん、八木かなえさん、里崎智也さん、貴乃花光司さん

Twitterアカウント

「全農広報部スポーツ応援」アカウントをぜひフォローしてくださいね!



女性アイドルグループ「虹のコンキスタドル」の方々にSNSで情報発信をさせていただきました。

全農広報調査部は、今後もさまざまなイベントを開催していきます。ぜひご参加ください!



JA全農いしかわ公式Instagramを始めました!

米や旬の青果物、肉や花の情報を発信

石川県本部



石川県本部は4月15日、JA全農いしかわ公式Instagramを開設しました!

石川県のお米や、旬の青果物、お肉やお花の情報を発信します。

また、石川県産食材を使ったおすすめレシピなどもご紹介していく予定です!

皆さんのフォローと「いいね♡」をお待ちしております!!

ぜひ石川県の旬をInstagramでも味わってください♪

公式Instagramはこちらから



「TODAY'S AGRINEWS」JA組合長出演 100人到達

ラジオから自己改革を多彩に発信

広報・調査部

「前へ前へ、全力農業」出演JAの分布 (5月13日現在)



特設サイトはこちらから



番組はTOKYO FMやJFN系列の38局で、月々金曜日の午前6時半から5分間放送しています。日本農業新聞の記事を紹介する他、JA組合長・理事長自らが自己改革の取り組みを語るコーナー「前へ前へ、全力農業」を設けています。同コーナーへの出演100人目となったのは、神奈川県JAはだの山口政雄組合長。組合員と対話を重ね、ニンジン「アロマレット」の生産拡大、加工品開発を進めていると紹介しました。

全農が提供するラジオ番組「TODAY'S AGRINEWS」で、JAの自己改革を発信するコーナーへのJA組合長・理事長の出演人数が、5月13日の放送で通算100人となりました。昨年6月の放送開始から、各地のJAの多彩な取り組みを発信。食の安心を支えるJAの姿を、番組を通じて消費者らに広く伝えていきます。



山形県産牛・豚ジャーキーとサラミ「山形印」新発売

県内JA直売所、スーパー、道の駅にお目見え

山形県本部

山形県本部の関連会社、株式会社全農ライフサポート山形は4月19日、県産牛肉や豚肉を使用したおつまみ「山形印」3品を発売しました。

「山形県産黒毛和牛やわかジャーキー」(30g)、希望小売価格648円)は、山形県内で飼育された黒毛和牛を原料に使用し、子どもからお年寄りまで幅広く楽しめるよう、軟らかさを重視しました。

「サラミソーセージ」(65g、同540円)は、県産豚肉と牛肉を使用し、味と風味にこだわりました。



発売した新商品「山形印」3品、右から「牛肉ジャーキー」「サラミソーセージ」「豚肉ジャーキー」

味にこだわりました。

「山形県産豚肉ジャーキー」(38g、同540円)は、県産豚のモモ肉を100%使用。あえて脂を残して加工し、脂身の甘みとうま味が広がる優しい味わいです。

「山形印」シリーズは、いずれも安全・安心の県産にこだわり、スパイスをやや控え、しっとり感を出すことで肉本来の食感を楽しめるように仕上げました。

同日から県内JAの直売所やスーパー、道の駅などで販売を始め、21日には県内スーパーで試食販売も実施しました。試食したお客さまからは「サラミとビーフはさっぱりしており、ポークは甘みがおいしい」「高級感があり手土産にいい」などの声が寄せられ、好評でした。



若手生産者らが自慢の肉牛を出品！

2019年度栃木県後継者・高等学校・大学校肉牛枝肉研究会開催

栃木県本部

栃木県本部は4月23日、東京・芝浦の東京食肉市場で「2019年度栃木県後継者・高等学校・大学校肉牛枝肉研究会」を開きました。肉牛肥育後継者育成の一環で、肥育技術の向上と若手生産者の生産意欲高揚が目的です。

県内各地から合計46頭が出品され、交雑種・後継者の部では神田俊光さん(JAしもつけ)、黒毛和種・後継者の部では佐藤友作さん(JAなすの)、黒毛和種・高等学校・大学校の部では那須拓陽高等学校がそれぞれ最優秀賞を獲得しました。

後継者代表のあいさつを務めた横尾光広さん(JAかみつが)は「実際のせりの様子を見られるのは貴重な



最優秀賞に輝いた皆さん

体験。今回の結果だけでなく肥育の過程も振り返り、一緒に栃木の畜産を盛り上げよう」と学生・生徒に呼び掛けました。

また、27、28日には高校生が実際に県内スーパーの売り場に立ち、今回の研究会に向けて自ら育て出品した「とちぎ和牛」の試食PRを行いました。肥育から販売までの一連の流れを体験することで、より農業を身近に感じてもらう機会となりました。



県内スーパーの売り場で自ら育て出品した「とちぎ和牛」の試食PRをする高校生

令和元年度「作物栽培総合技術研修」の受講者を募集



TACの農業者ニーズに迅速に対処できる実践力磨く

全農は、JAのTAC(担い手に向く担当者)を対象に「作物栽培総合技術研修」を開催します。研修カリキュラムの充実を図り、農業者のニーズに迅速に対応する実践力を習得できる研修内容になっています。現在、受講者を募集中です。ふるってご参加ください。

【耕種総合対策部】

研修は、神奈川県平塚市にある営農・技術センターで行う「総合研修」と、山形や千葉、群馬、広島各県本部の営農拠点で行う「作物別研修」からなります。定員上限が10人と限られるため、講師を務める全農職員と綿密で活発な意見交換ができる環境となっています。

総合研修は10月下旬からの第1クール、来年1月下旬からの第2クールのそれぞれ4日

間の日程で開催します。

研修は平成29年度から開催していますが、過去の受講者からは、「担い手に提案できる技術が学べた」、「現場で役立つ実践的な研修だった」、「来年もTACを参加させたい」など、高い評価を得ています。

生産現場での営農・技術指導のさらなるレベルアップにつながる研修会です。ぜひ、ご参加ください。



昨年度の病害虫の現物鑑定とトマトの栽培実習

開催場所・日程

総合研修

	研修日時	研修場所
第1クール	令和元年10月29日(火)~11月1日(金)	全農 営農・技術センター (神奈川県平塚市)
第2クール	令和2年1月28日(火)~1月31日(金)	

作物別研修

	研修日時	研修場所
トマト・パプリカ	令和元年8月26日(月)~30日(金) (5日間)	全農山形県本部 園芸産地拡大実証研修農場
ニンジン・キャベツ	令和2年1月15日(水)~17日(金) (3日間)	全農千葉県本部 営農技術センター
アスパラガス	令和2年2月中旬(3日間)	全農広島県本部 JA西日本営農技術センター
キュウリ・ナス	令和2年3月下旬(3日間)	全農群馬県本部 園芸作物生産実証農場

申し込み締め切り: 令和元年7月26日(金) 問い合わせ先: 耕種総合対策部TAC推進課 03-6271-8276

JA全農 オフィシャル アプリ

トピックス ポイント ケーボン

「食と農」の情報を広く消費者へ! スマホアプリを公開中

JA全農のイベントや新商品に関する最新情報がさらに充実! 作動環境: スマートフォン iOS8以上 Android4.3以上



JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

全農ライフサポート山形



さくらんぼ佐藤錦(500g) 5000円



山形県の「株全農ライフサポート山形」ショップからご紹介するのは、さわやかな初夏の味覚 山形果実の代名詞『さくらんぼ 佐藤錦』。旬の味を産地直送でお届けいたします。

一粒一粒に手間と愛情をかけて大事に育てたさくらんぼは、「果樹園の宝石」とも呼ばれるほど。宝石のような艶やかで美しい輝きと、甘味・酸味のバランスが絶妙にとれた「佐藤錦」は『山形が誇る芸術品』です。一口ほお張れば、弾ける甘さと酸味が口の中いっぱい広がります。ご自宅用はもちろん、ご贈答用にも最適です!

- いつもお世話になっているあなたに!
- お中元の贈り物に!
- 自分へのご褒美に!

甘くて大粒のさくらんぼは、いかがでしょうか?

なお、ご紹介した商品は6月25日までご注文を承ります。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com> ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。